

令和2（2020）年度

## 地域学校協働活動推進員養成研修② 実施報告

実施日：令和2（2020）年7月1日（水）

地域学校協働活動推進員養成研修（第2回）は、地域学校協働活動推進員として活動していく上で身につけておきたい視点や知識の中から、「子ども」「地域づくり」をテーマに講話、演習を行いました。

### 講話「子どもを取り巻く現代的課題」

中央大学 法学部 教授 廣岡 守穂 氏



廣岡先生自身のたくさんの経験を基にした様々なエピソードを伺うことができました。地域の大人として子どもとどう関わるべきかについて、受講者はたくさんの気づきがあったようでした。また、それぞれの立場でできることについて思いを馳せていたようでした。

いつの時代も変わらない課題と、時代の流れによって生じてくる課題。それらの課題の解決を目指して、子どもたちとどう関わるべきか、考える契機となったようです。

### 講話・演習「地域課題解決のためにできること」

宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 石井 大一郎 氏

前回の研修では、それぞれの立場で、学校と地域の協働のあるべき姿について考えました。今回は、前回の研修を踏まえた上で、あるべき姿を具現化していくために必要な地域づくりの視点について学びました。

石井先生から、地域コミュニティの現状についての説明の後、学校での教育課題（学校の教育力の向上）だけでなく、地域課題（地域の教育力の向上）まで視野に入れておくことの必要性について話を伺いました。その上で、課題を共有して、解決しようとする仲間を広げていくことの大切さについても、事例などを交えながらお話いただきました。受講者の実際の活動につながるトピックも多く、充実した学びとなりました。



\*\*\*\*\*

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講者同士の距離を確保し、接触を伴わない演習のみで研修を実施しました。今後も、状況に応じた研修を実施してまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。



リモートによる講話



接触を伴わないワーク

\*\*\*\*\*

### 【受講者の感想から】

- 子どもの世界を壊さないように、大人の押しつけにならないように配慮することが必要だと思いました。
- 子どもたちを、地域は見ているよ、見守っているよ、ということを子どもたちに伝えていくことの大切さを学びました。
- 地域の大人として、子どもたちとのつながりの大切さを感じました。
- 学校の支援ばかりに固執していましたが、地域課題も視野に活動することの意義に気づかされました。



研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206      e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp